

12月17日（水）

3年次 課題研究年次発表会



3年次による「課題研究」年次発表会を実施しました。本発表会は、2年次から各ゼミに分かれて取り組んできた探究活動の成果を発表する場として行われ、生徒一人ひとりが自ら設定したテーマについて、これまでの研究の過程と成果を発表しました。

本発表会では、問いや仮説の設定、先行研究の調査、実験やフィールドワーク、分析・考察など、それぞれの興味・関心に基づいた多様な探究が紹介され、活発な質疑応答も行われました。探究の成果をもとに新たな問いを設定し、追加研究に取り組む生徒の発表もあり、充実した内容となりました。

神戸松蔭大学の待田先生からは、AIが普及する現代において、情報を得ること以上に、それぞれが自分の視点や関心をもとに問いを立て、探究することが重要であり、その過程が新たな視点や自己理解につながるとの指摘がありました。さらに、探究活動では結果にとらわれる必要はなく、調査やフィールドワークを通して試行錯誤する「過程そのものにこそ学びの価値がある」との講評をいただきました。

最優秀賞は国際・言語ゼミの「貧困世帯に生まれた子どもの悩みとは」と心理ゼミ「見てはいけない夢とその対策法～精神と環境が与える夢への影響～」でした。なお、本発表会で選出された発表は、令和8年1月23日（金）の総合学科発表会において、全体発表として紹介される予定です。